

### 【注意事項】

高齢者肺炎球菌を定期接種として受けることができるのは、

①接種日時点で65歳の方と

②満60歳以上65歳未満の方で、対象となる基礎疾患をお持ちの方 です。

\* 過去にこの予防接種を受けたことがある方は、対象者とはなりません。

## 肺炎球菌予防接種を受ける方へ

### ● 肺炎球菌感染症とは

肺炎球菌感染症は、肺炎球菌という細菌によって引き起こされる病気です。この菌は、主に気道の分泌物に含まれ、唾液などを通じて飛沫感染します。日本人の約3~5%の高齢者では鼻や喉の奥に菌が常在しているとされます。これらの菌が何らかのきっかけで進展することで、気管支炎、肺炎、敗血症などの重い合併症を起こすことがあります。

### ● 高齢者を対象にした肺炎球菌ワクチン予防接種の効果

肺炎球菌には90種類以上の血清型があり、定期接種で使用される「ニューモバックスNP（23価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチン）」は、そのうちの23種類の血清型に効果があります。この23種類の血清型は成人の侵襲性肺炎球菌感染症の原因の約4~5割を占めるという研究結果があります。「ニューモバックスNP（23価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチン）」はこの23種類の血清型の侵襲性肺炎球菌感染症を4割予防する効果があります。

### ● 肺炎球菌ワクチン「ニューモバックスNP（23価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチン）」予防接種の副反応

稀に報告される重い副反応としては、アナフィラキシー様反応（呼吸困難、血管浮腫、蕁麻疹、発汗等があらわれることがある。）、血小板減少（小康期にある特発性血小板減少性紫斑病患者において血小板減少がある。）、ギランバレー症候群、蜂巣炎様反応等が報告されています。

### ● 予防接種を受けることができない人

- 1 明らかに発熱のある人（体温が37.5度以上の場合にはできません）
- 2 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
- 3 このワクチンに含まれる成分によってアナフィラキシーを呈したことがあることが明らかな人  
〔アナフィラキシーショックとは、通常接種後30分以内に起こるひどいアレルギー反応のことです。発汗、顔が急にはれる、全身にじんましんが出る、吐き気、嘔吐、声が出にくい、息苦しいなどの症状に続き、血圧が下がっていく激しい全身反応です〕
- 4 その他、医師が不適當な状態と判断した場合

### ● 予防接種を受けるときに担当医とよく相談しなければならない人

- 1 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害等の基礎疾患を有する人
- 2 予防接種で接種後2日以内に発熱のみられた者及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある人
- 3 過去に痙攣の既往のある人
- 4 過去に免疫不全の診断がなされている者及び近親者に先天性免疫不全症の者がいる人
- 5 このワクチンに含まれる成分に対してアレルギーを呈するおそれのある人
- 6 過去に、ニューモバックスNP（23価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチン）を接種されたことのある人

### ● 予防接種を受けた後の一般的注意事項

- 1 接種後24時間は副反応の出現に注意しましょう。特に30分以内は健康状態が急激に変化することがありますので、医師（医療機関）とすぐに連絡のとれるようにしておきましょう。
- 2 接種当日の入浴は、差し支えありませんが、過激な運動や飲酒は、接種後24時間以内はさけましょう。